

ここで、日本語における品詞分類上の立脚点が、英語や中国語等のそれと全く異ってゐることについて一言して置きたい。

日本語には、英語や中国語等には全く存在しない“活用”といふものがある、これが文法上大きな働きをしてゐるために、活用の有無や変化の仕方が品詞分類上の一つの基準になつてゐることである。

英語や中国語等においては、品詞は文章上の働きによって決定されるものであるから、単語だけを取り出して来て、「これは名詞である」「これは形容詞である」とは言ひ切ることが出来ないのが普通である。

ところが、日本語では、文章の働きの如何に関はず、活用の有無や変化の仕方によって、品詞が初めから決つてゐるのである。例へば、“貧しい”といふ言葉は“形容詞”であり、これと対をなす“富む”といふ言葉は活用によって“動詞”と決つてゐるのである。

これが中国語だと、“貧”も“富”もどちらも形容詞である。貧と富とは対をなす文字であり、その働きは全く同じであるから、同じ品詞であるのが当たり前である、といふわけである。

ところが、日本語では、“貧しい”といふ言葉は、意味や文法上の働きがどうであれ、“貧しい”といふ活用をするから“形容詞”であり、“富む”

といふ言葉は、“富む”といふ活用をするから“動詞”なのである。

つまり、“しい”といふ活用をする言葉はすべて例外なく“形容詞”であり、“む”といふ活用をする言葉は“動詞”なのである。文章を読んでみて、その働きによって品詞が決る英語や中国語とは、そこに大きな違いがあるのである。

それにしても、“貧しい”が形容詞なのに“富む”は動詞であるとは変ではないか。日本語は論理的でない……と思はれる方がきっとあつたと思ふ。然し、これが日本語の論理であり、これが日本語の素晴らしい所なのである。

英語では、“述語”になる言葉は“動詞”と限られてゐるけれども、日本語では、“動詞”と共に“形容詞”がこの仕事に當つてゐる。だから、“貧しい”が形容詞で、“富む”が動詞で、少しも困ることが無いのである。

また、名詞を修飾するのは、英語では“形容詞”と決つてゐるが、日本語では“動詞”でも修飾語としての働きをするやうになつてゐる。例へば、“貧しい人”に対して“富む人”あるひは“富める人”といふやうに、立派に修飾語として働けるのである。

さて、形容詞の“活用形”は、“ク活用”と“シク活用”の二種類しかない。逆に言へば、“ク”もしくは、“シク”の活用する言葉はすべて“形容詞”だといふことになる。(厳密に言へば、これと同じ活用をする“助動詞”がある。然し、これは形容詞のやうな概念を有たず、概念語に着いてその働きを助けるものであるから、容易に区別することが出来る)

今、二種類と言ったが、“シク活用”といふのは“ク”の上に必ず“シ”が着いてゐるだけのことであり、活用の仕方は全く同じである。“ク活用”は“く・い・けれ”といふ三つに変化し、“シク活用”は“しく・しい・しけれ”と変化する。

“く”“しく”は、「山が高く聳える」といふやうに、動詞などの用言(ここでは“聳える”に連なる時の形であるから、“連用形”と言ふ。然し、“連用”とは、「用言を修飾する」といふことであるから、「副詞としての働きをする形」つまり“副詞形”と言った方が解り易いかも知れない。

英語では、形容詞に“ly”を付けると副詞になる言葉が多いが、日本語では、形容詞の連用形を使へば、形容詞はそのまま皆、副詞になるのである。活用とはこのやうに素晴らしい働きを有ったものなのである。

また、この形は、「山は高く、海は広い」といふやうに、文を一時中止する時に使ふ形でもある。そのため、“中止形”といふ別名もあることは、

動詞の場合と全く同じである。

“い”“しい”は、「山が高い」「花が美しい」といふやうに、文の述語として用ひられ、かつ、文の末尾に置かれた時の形である“終止形”と、「高い山」「美しい花」といふやうに、英語の形容詞と全く同じ使ひ方、つまり、名詞(体言)に連なる形の“連体形”とある。

“終止形”と“連体形”とは、現代語では全く同じ形をしてゐるが、古語においては、「山高し」「高き山」、「花美し」「美しき花」といふやうに、形が全く異つてゐる。終止形と連体形と区分する理由はここにある。

英語では“The mountain is high.”“The flower is beautiful.”といふやうに、形容詞は、述語である動詞の補語として用ひられ、述語にはなれないのであるが、日本語の形容詞は、すでに述べたやうに、「山が高い」「花が美しい」といふやうに、終止形を使へばそのまま述語として働くのである。

“けれ”“しけれ”は、「高ければ」「美しければ」といふやうに、仮定の意味を表す時に用ひる助詞の“ば”に連なる時の形であつて、だから“仮定形”と呼ばれてゐる。